



月刊

2019

4
月号

みんなぱく

特集

みんなぱく

収蔵庫

収蔵庫再編成とその舞台裏 園田直子

安定した収蔵環境を保つための工夫 河村友佳子

資料の収納・保管に用いる材料 橋本沙知

民族資料の収納・保管 和高智美

外から見える収蔵庫 末森薫

ハイブリッド型保管庫「多機能資料保管庫」の登場 日高真吾

むかしの言葉を 短歌のなかで

永田 紅

「動態保存」という言葉をはじめて知ったのは、短歌の座談会だった。歌人の高野公彦さんが、「歌人は、昔の言葉を動態保存する」とおっしゃったのである。蒸気機関車などは停めた状態で保存（動態保存）するだけでなく、大井川鐵道のように実際に走らせながら保存することで、本来の用途や動きの様子を目の当たりにすることが出来る。そんなふうには、日本の古い言葉も、短歌のなかで実際に使われながら保存されてきた、というのである。

博物館に陳列されている昔の道具を見て、「これ何に使うもの？」と思うことがある。昨年の正倉院展で見かけた「白銅剪子」は、剪定はさみのような、でも先端の刃部分に半円形の壁がついた不思議な形。説明によると「灯明の芯切りはさみ」とのこと。円形に合わる壁のおかげで、切り取られた芯の残片が落ちない仕組みになっている。へえ、面白い。私はこんな道具を使ったことがないから、想像もつかなかった。物として残っていても、いったん使用が途絶えると、用途不明になる。洗濯板や石臼などは、使用経験がなくても知識としてわかるが、しかし実際の使い勝手や手応えを私は知らない。「なる」「きこはし」「なづき」「かひな」「あはひ」「なづび」。こんな言葉たちを、いま短歌や俳句以外で目にすることはほとんどないだろう。それが

プロフィール
1975年滋賀県生まれ。歌人。京都大学特任助教（細胞生物学）。京都大学大学院農学研究科博士課程修了。12歳から作歌を始める。歌集に『白輪』（砂子屋書房）、『北部キャンパスの日々』（本阿弥書店）『ぼんやりしているうちに』（角川書店）、最新歌集は2018年9月刊行の『春の顕微鏡』（青磁社）。エッセイ集に『家族の歌』（共著、文藝春秋）がある。父・永田和宏、母・河野裕子、兄・永田淳も歌人。歌壇賞（1997年）、現代歌人協会賞（2001年）、京都府文化賞奨励賞（2013年）等を受賞。

れ、「地震」「階」「脳」「腕」「間」「薔薇」。「汝（な）んぢ、なれ、な」や枕詞「あかねさす」「ひさかたの」なども短歌特有の言葉である。辞書のなかに鎮座しているだけではなくて、現代短歌のなかでも目にする。古い言葉を使って古めかしい短歌を作るわけではない。古い言葉も使って、現代を詠むのである。そこには、ただ「地震」や「間」と表現したとき以上の、厚みやふくらみが加わる。意味だけではない、言葉のもつ佇まいや歴史。古い言葉が、生きて、動いて、運用されている。

サキサキとセロリ噛みいてあどけなき汝を
愛する理由はいらす

佐佐木幸綱

物は、使うことで消耗や故障といった問題が起こるのには避けられない。しかし言葉は、使えば使うほど残る。本来の意味から転じて、変わってゆくことはあるにしても。

そして短歌は、感情や記憶をも動態保存する。歌一首を作ることで、何もしなければ流れ去ってしまう「その時」を短歌の器のなかに保存し、日常の諸局面で思い返し、味わい直し、力にすることが出来る。自分で作った歌でなくとも、誰かの歌一首を知っている、それだけで人生ゆたかなものである。

月刊 みんぱく

4月号目次

- | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 エッセイ 千字文
むかしの言葉を短歌のなかで
永田 紅</p> <p>2 特集 みんぱくの収蔵庫
収蔵庫再編成とその舞台裏
園田 直子</p> <p>4 安定した収蔵環境を保つための工夫
河村 友佳子</p> <p>5 資料の収納・保管に用いる材料
橋本 沙知</p> <p>6 民族資料の収納・保管
和高 智美</p> <p>8 外から見える収蔵庫
末森 薫</p> <p>9 ハイブリッド型保管庫「多機能資料保管庫」の登場
日高 真吾</p> <p>10 ○○してみました世界のフィールド
ハンターとともに走る
池谷 和信</p> | <p>12 みんなく Information</p> <p>14 想像界の生物相
カチーナ人形
伊藤 敦規</p> <p>16 新世紀ミュージアム
台湾客家村のエコミュージアム
河合 洋尚</p> <p>18 シネ倶楽部 M
聖化に憧憬する心、俗世で生きる勇氣
——「修験 羽黒山秋の峰」
劉 高力</p> <p>20 ながなんぢや
俺はシッセイ、お前はカンセイ
桜木 真理子</p> <p>21 次号予告・編集後記</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

特集 みんなはくの

収蔵庫

民博は、世界の人びとの文化や暮らしにかかわる資料を収集しており、その数は三四万七三七八点(二〇一八年三月二日時点)にのぼる。これらの資料は展示で活用されるとともに、収蔵庫に保管され、研究や調査、貸出などで利用されている。本特集では普段、目にふれる機会が少ない収蔵庫とはどのような場所か、どのように整備されているのかを紹介する。

収蔵庫再編成とその舞台裏

そのだ なおこ
園田 直子 民博人類基礎理論研究部

収蔵庫再編成

民博の収蔵施設には、開館時からの七収蔵庫に加え、一九八三年に竣工した三収蔵庫、一九八六年の大型アント、一九九六年の二収蔵庫がある。二〇一四年には、一時保管場所と殺虫処理システムの機能を兼ね備えた多機能資料保管庫が新設された(本号・日高参照)。多機能資料保管庫は大型アントの跡地に建てられたもので、厳密に言えば、一九九六年以降、収納スペースは増えていないことになる。民博では、収蔵庫の狭隘化対策とともに、資料の再配架および収納・保管の改善を「収蔵庫再編成」ととらえ、保存科学研究と連動して進めている。実際、二〇一八年六月の大阪府北部地震の際には、再編成された収蔵庫では破損資料が少なく、予防措置としての有効性が図らずも実証された。



大型資料を対象とした一般収蔵庫(写真はすべて2019年撮影)

材質一般にとって平均的な温度・湿度設定で稼働している。温度設定は夏期、中間期、冬期で変えていたが、二〇二二年度より、一般収蔵庫のうち外気温の影響を受けにくい部屋に限り、中間期は空調を停止している。これは節電対策とともに、温度と湿度の推移を自然にまかすことで、それらの変化をより緩やかにするという目的を併せもつ。特別収蔵庫は、一般収蔵庫の二〇分の一程度の大きさで、空調はそれぞれの材質に応じて設定された温度と湿度で、二四時間稼働している。



特別収蔵庫(毛皮)。帽子は形がくずれないように内側に詰め物を施し、個別に収納している

にもどす前に殺虫処理をするなど、資料管理の業務に携わる職員が地道だが基本的な活動と、日常の目配りで環境がまもられている(本号・河村参照)。また、収蔵庫を含めた館内の環境は、中央監視室で二四時間管理されている。

資料の収納・保管にあたっては、予防保存の見地から、出し入れ時、不必要に資料に触らないですむよう下敷きや箱を工夫したり、自立困難な資料は何らかの方法で支えたり、軽微な変形が見られる資料には詰め物を施したりしている。類似の形態のものはまとめて収納することで省スペースを図っている。収納や保管で用いる材料は、資料と長期間接触しても、資料に害を与えないものを選択(本号・橋本参照)したうえで、帽子、長靴、土器、先端が鋭い資料、長尺資料、絨毯など、それぞれの形状や状態にあわせた収納・保管方法を考案している(本号・和高参照)。

変わる収蔵庫

収蔵庫再編成は、二〇〇七年度に毛皮収蔵庫、二〇〇八年度に絨毯収蔵庫と、まずは資料数と面積が限られる特別収蔵庫から着手した。二〇一五年度、大型資料を対象とした一般収蔵庫を改修した際には、もともとあった窓を大きくすることで「外から見える収蔵庫」とし、博物館や大学の関係者、一般の方にも博物館の舞台裏の活動を見てもらえるようにした(本号・末森参照)。一方、このような大規模な改修工事を伴わずとも、年月をかけて実現した事例もある。小型・中型資料を対象

徹底した管理と保管

民博の収蔵庫は、民族資料全般を対象とした一般収蔵庫(七部屋)と、刀剣、絨毯、漆、毛皮、衣類など、材質別にわけられた五部屋の特別収蔵庫に大別できる。全資料の約九割が収納されている一般収蔵庫は、それぞれ一〇〇〇平方メートル前後と広い。空調は一日約八時間、



特別収蔵庫(絨毯)。集密棚の上に軽いもの、下に大きく重量のあるものを収納している



「外から見える収蔵庫」を見学する人びと

とした一般収蔵庫のうちの一部は、六年かけて二〇一六年度に再編成が完了し、最終的には部屋の六割のスペースに資料を再配架できた。また、二〇一七年度には漆器の特別収蔵庫の再編成が完了し、現在は、衣類の特別収蔵庫を対象にしている。とはいえ民博の収蔵庫再編成は、まだまだ道なかげである。というのも大容量の一般収蔵庫がまだ五部屋残っている。それぞれに六年かけて再編成することになると、あと三〇年はかかることになる。逐次、改良を加えながら収蔵庫再編成を進めていく。

安定した収蔵環境を 保つための工夫

河村 友佳子 民博プロジェクト研究員

安定した環境づくり

収蔵庫は、通常は施錠して、資料の管理を担う職員が入室状況を把握するとともに、日常的な努力により、安定した環境を保つためにさまざまな工夫が凝らされている。

汚れや虫をもち込まないための工夫として、外部から収蔵庫までを複数の扉やシャッターで区切り、作業や資料移動の際は、ひとつの扉のみを開くように注意するほか、入室前に靴を履き替えることを徹底している。このほか、外部からもち込まれる資料は必ず殺虫処理してから収蔵庫に収めている。また、季節ごとに虫トラップを用いて虫の生息状況を調査し、年に一回はすべての収蔵庫において、掃除



収蔵庫の清掃(2017年)

機やドライシー
トで棚の上や、
床面を中心に清
掃している。そ
の際、掃除機は
排気で空気を汚
さないために、
HEPAフィル
タ※相当の集塵
能力のものを使
用している。

照明は、収蔵庫に入室しているあいだのみ点灯することとしている。かつては、資料の劣化の要因となる紫外線をカットした博物館・美術館用の蛍光灯を使用していた。現在は、従来の一般的な蛍光灯やハロゲン電球に比べ、紫外線や赤外線の影響を含まないLED照明を使用している。

こまやかな温度・湿度の管理

温度・湿度は、資料の保存に適した設定値で、できるだけ無理のない空調運転計画をつくり、大きな変動がない安定した環境を目指している。民博の収蔵庫は、立地条件などによって温度・湿度の状況が異なる。例えば、周辺を廊下や事務室などに囲まれた収蔵庫は、外気の影響を受けにくく、比較的、温度・湿度が安定している。また、地下にある収蔵庫は年間をとおして温度が低く保たれるため、温度制御を停止し、湿度のみ調整している。一方、建物の最上階に位置し、周囲を外気で囲まれている収蔵庫は、外気の影響を受けやすく、ほかの一般収蔵庫が空調を停止する中間期も、空調を運転して環境を維持している。このようなそれぞれの収蔵庫の状況に応じつつ、こまやかな管理をおこなうために、収蔵庫では空調機制御用の温度・湿度測定センサーのほかに、自記温湿度計とデータロガーを併用して温

度・湿度を測定

し記録するとともに、定期的



収蔵庫ゾーンの入口で専用の上履きに履き替える(2019年)

また、収蔵庫を管理する部署と、施設を管理する部署、空調機の制御をおこなう外部委託業者と保存担当の研究者で、温度・湿度データの記録や、空調運転に関する情報を共有するために、隔週で連絡会を実施している。さらに、温度・湿度に異常が生じるなど、緊急時の対応に備えて関連部署でメーリングリストを作成し、迅速に情報共有が図れる連絡体制を整えている。

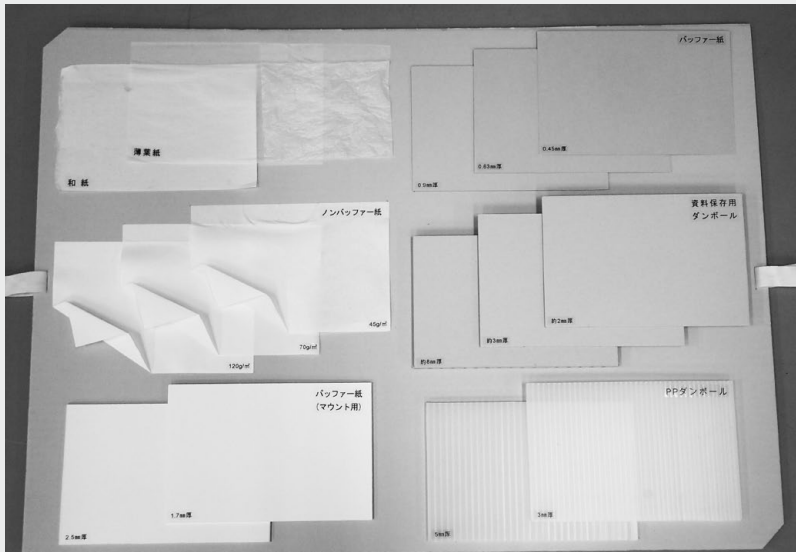
※HEPAフィルタ(High Efficiency Particulate Air Filter)掃除機や空気清浄機に用いられるエアフィルタの一種で、99.97%により、「定格風量で粒径が0.3マイクロメートルの粒子に対して九九・九七パーセント以上の粒子捕集率をもち、かつ初期圧力損失が二四五パスカル以下の性能をもつエアフィルタ」と規定されている。

資料の収納・保管に 用いる材料

材料の選択

収蔵庫や展示で使用する材料は、長期間、資料と接触することから、色移りしない、ひっかからな

いなど資料に影響をあたえないものを選択する必要



民博でもおもに使用している材料(写真はすべて2019年撮影)

橋本 沙知 民博プロジェクト研究員

民博での使い方

資料の保管箱には、図書館や博物館の資料保存用に製造された段ボールを使用している。この段ボールには三種の厚さがある。もっとも厚いボードは二重構造で丈夫なため、資料を平置きする際の下敷きとして用いる。

保管箱のなかで資料と接触する部分には、薄手の和紙「薄葉紙」を敷いている。薄葉紙は、細く割き紐にして資料を固定する、軽く揉んで空気を含ませ袋状の資料の詰め物にするなど、さまざまな用途で使用できる材料である。また、箱のなかの仕切りや、保管箱に貼りつけるラベルには、酸性にもアルカリ性にも傾いていない中性紙を使用している。

木綿製の布テープは、保管箱を組み立てるときに使用



保管箱の活用例

する。また、衣類資料に縫い付ける資料番号のラベルとしても使用する。

綿は、天然由来のものと合成素材のものを使いわけ、天然の綿は当たりが柔らかく、薄葉紙で包みクッションとして用いている。一方、合成素材の綿はハリがあるため、資料の内側に詰めて形状を維持するのに用いている。

クッション性に優れた発泡体は、収納、展示の両方で資料を傷つけないよう緩衝材として重宝している。カッターナイフで任意の大きさに成形できるため、資料のかたちを内側から整える詰め物としても使いやすい。柔らかさ、厚さが異なるものを各種そ

ろえて、使いわけている。

透明のフィルムは、厚手のものは折って組み立て、羽根など虫害に遭いやすい資料のカバーに使用すると資料を保護しつつなかの様子も確認できる。また、絨毯などの長い資料を紙管に巻き付けて保管する際には、一旦紙管の表面を薄いフィルムで養生している。

資料の保管に用いる材料は、化学的にも物理的にも安定した材質であることはもちろんのこと、使用勝手がよいことも大事である。しかし、メーカーの都合で製造が中止になり、突然、入手困難になることもあるので、あらたな材料の情報収集を続ける努力をおこなっている。

民族資料の収納・保管

わたかともみ
和高智美 合同会社文化創造巧芸

資料の収納・保管方法の見直し

民博の収蔵庫では、資料は基本的に収集された順番をもとに資料番号が付与され、収蔵されているため、さまざまな大きさの資料が混在して配架されていた。そのため、必ずしも効率的な配架方法になっておらず、収蔵庫が狭隘化する要因となってきた。そこで、二〇〇四年から、収蔵資料の収納・保管方法の見直し（収蔵庫再編成）をおこない、さ

さまざまな工夫をこらすことで、効率的な配架スペースの確保に成功した。ここでは、おもに資料の形状や状態にあわせて考案したいくつかの収納・保管方法を紹介する。

資料に適した配架の実例

土器類は割れて壊れる危険があるため、収集時の段ボール箱などに入れたまま保管されているも

積み重ねて、皮革の帽子を保管する円柱材として応用している。

矢などの細長い資料は、一度に大量に収集される場合が多く、重なり合って配架されている状態



上：円柱材にかぶせることで帽子の変形を防いでいる
下：下敷きに並べた矢は引き出せとり出せる（撮影：橋本沙知）
左：棚の側面を利用した長尺資料の収納・保管

のがあったが、普通の段ボール箱は長期保存には適していない。そこで、段ボール箱から出し、万



接触して破損しないように養生した土器
（写真はすべて2019年撮影）

が一の落下による衝撃を避けて棚の下段に収納した。また、並べて置いた際に接触して傷つくのを防ぐため、筒状包帯に

であった。そこで、発泡体で受けて矢を浮かせ、資料と資料のあいだにも発泡体のブロックを挟むことで、矢羽が接触することなく保管ができ、安全かつ簡単に資料の出し入れができるようになった。また、弓や槍などの収蔵棚に収まりきらない長さの資料は、棚の側面にネットパネルをとり付け、そこに資料を立てかけて布テープで固定した。資料が床の埃（ほこり）と接することがないように、受け棚をとり付けている。

絨毯資料は、虫害に遭いやすい資料として特別収蔵庫に巻いた状態で保管しているが、巻き始めに強い巻き癖がついてしまう問題があった。そこで、芯棒や透明フィルムで養生した紙管に巻くことで巻き癖がつかないように工夫した。

このように民博ではさまざまな資料の収納・保管の工夫をおこなっているが、同じ材料、同じ方法で対応している。一点ごとに凝った保管方法にしてしまうと活用後に元に戻せなくなるため、できるだけ簡易で安全な保管方法を心がけている。



紙管に巻いた絨毯資料



資料保存用段ボールで作成した下敷き

羽根を覆う厚手の透明フィルムのカバー

外から見える収蔵庫

すえもり かおる
末森薫 民博機関研究員

開かれた博物館に向けて

博物館のバックヤードに設置される収蔵庫や保存修復施設などは、一般には公開されないことが多い。民博のバックヤードも広く公開することは想定されていなかったが、開館して間もなくの一九八〇年代前半、行政の視察団などから民博のバックヤードを見たいという希望が多く聞かれた。そこで、大型の資料を収蔵する第一収蔵庫の搬入口に面した一角に、収蔵庫のなかをのぞける窓を備えた見学スペースが設置されることとなった（設置の背景・経緯については、森田恒之当館名誉教授にご教示いただいた）。収蔵庫を見せるという試みは、当時は先駆的なものだったが、現在ではさまざまな施設でとり入れられている。例えば、二〇〇五年開館の九州国立博物館では、建設当初より収蔵庫内部を観察する



階段踊り場の窓から見えるザ・ブロードの収蔵庫（2016年）

ための窓がとり付けられ、定期的開催されるバックヤードツアーなどで一般にも公開されている。また、二〇一五年に開館したロサンゼルス現代美術館ザ・ブロードでは、動線となる階段の踊り場に収蔵庫を見渡せる窓が設けられ、一般の来館者が収蔵庫のなかをのぞくことができる。

民博の第一収蔵庫に設置された見学スペースは、視察団の減少などに伴い、しばらくのあいだは積極的に活用されていなかった。しかし、二〇一五年度に集密式の新しい棚や資料を仮保管するための蚊帳を導入するなどの大規模な改修がおこなわれた際、見学スペースに備わる窓も大きいものに取り替えられ、収蔵庫を見せる環境が再び整備された。窓の拡張にあたっては、車椅子に乗った人の視線からも見えるようにするなど、ユニバーサルデザインの考えもとり入れられている。二〇一七年度には、大学関係者二五五名、博物館関係者五〇名、その他八八名の計三九三名が訪れ、資料の収蔵方法など博物館の裏側でおこなわれる活動の一端を知ってもらえた。

「収蔵展示」の議論

展示場など公の場に収蔵庫を設置する「ヴィジブル・ストレージ（見える収蔵庫）」という考え・方

ハイブリッド型保管庫 「多機能資料保管庫」の登場

ひだか しんご
日高真吾 民博人類基礎理論研究部

震災の経験を活かして

多機能資料保管庫は、二〇一四年度から運用を始めた民博でもっとも新しい収蔵施設のひとつである。南北に二七メートル、東西に三六メートル、床面積約二〇〇平方メートルの大きな空間には、世界中から収集された船をはじめとする大型の標本資料が収蔵されている。この施設の特徴は、災害で被災した文化財や博物館資料を一時的に保管するための空間と、それを受け入れるための処理室が設けられていることである。そこで、本稿では、災害時を想

定した多機能資料保管庫の機能について紹介する。

多機能資料保管庫の設置計画では、二〇一二年に発災した東日本大震災の経験を活かすことが話し合われた。なかでも、被災した博物館施設から安全な場所に博物館資料を一時的に避難させるという支援活動の際に、一時保管場所の確保に苦労した経験から、多機能資料保管庫に一時保管場所の機能をもたせることにし、床面積約二〇平方メートルの収蔵スペースを設けることとした。これによって民博は、関西地域で災害が発生した際、被災した文化財や博物館資料を一時的に預かることのできる機能を備えるようになったのである。また、一時保管の機能をより効果的に活用するため、被災した文化財や博物館資料を安全に管理するための殺虫処理システムを導入した。さらに、被災によって劣化した文化財や博物館資料を洗浄するための水場を備えた作業場を設けることとした。

多機能資料保管庫の活用

殺虫処理システムは、幅二八メートル、奥行き六・九メートル、高さ二・二メートルという大きさの殺虫処理テント二基を設置し、二酸化炭素や窒素を透過させないシートによる個別の包み込み処理が二カ所で実施できるというものである。また、殺虫処理

法は、バンクーバーにある人類学博物館が一九七六年に建物を移転した際に、学生や研究者、先住民の人びとに所蔵品を広く公開（民主化）することを目的に考案されたことが知られている。興味深いことに、『国立民族学博物館十年史資料集成』によれば、ほぼ時を同じくして民博においても展示場の一部を収蔵庫とする「収蔵展示場」の案が議論されていた。この案は、一般の展示場が狭くなることを理由として採用は見送られたが、民博の歴史の一部であることに違いはない。民博を設計した故黒川紀章氏は、二〇一〇年に開館した長崎県埋蔵文化財センター・吉岐市立一支国博物館を設計するにあたり、展示場と収蔵庫を隔てる壁二面を透明とする「観察壁」の発想をとり入れ、収蔵庫を展示場の一部とすることを実現した。開かれた博物館を目指し、民博でおこなわれてきた議論や施策は、さまざまなかたちで今に息づいている。

長崎県埋蔵文化財センター・吉岐市立一支国博物館の「オープン収蔵庫」（長崎県埋蔵文化財センター提供）



も、二酸化炭

素または窒素

の二種類から

選択ができる。

二酸化炭素

処理とは、処

理温度二五度、

二酸化炭素

濃度六〇〜七

五パーセント、

処理期間二週

間で殺虫処

理をおこなう

方法で、一般

的な素材で構成された民族資料に汎用的に使用できる処理方法である。また、窒素処理は、処理温度

二五度で、酸素濃度〇・三パーセント未満になるま

で窒素を封入して、その酸素濃度を維持することで

殺虫効果が得られる方法であり、絵画などの変色を

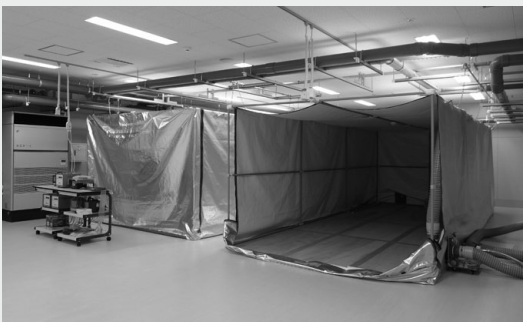
起こしやすい資料に対して安全な殺虫処理法である。

どちらも民博において運用できるよう、基礎的、実践的研究を積み重ねてきたものである。

以上のような複数の役割を担った多機能資料保管庫は、いわゆるハイブリッド型の収蔵施設といえる。

より有効にそして安全に多機能資料保管庫を活用するため、これからも資料管理を担っている関係部門と協力しながら、しっかりとした運用方法を

確立していきたい。



殺虫処理テント（2014年）

ハンターとともに走る

いげや かずのぶ
池谷 和信

民博 人類文明誌研究部



猟に同行してみました

カラハリ砂漠の狩猟キャンプでの筆者（左側）。右上にぶら下がっているのは、しとめた獲物から作った干し肉

獲物を獲得する知恵や技術を求めて世界中を飛びまわる筆者。ページ背景の地図にあるように、なんと三大陸をまたいでハンターに同行し、狩猟文化、生き物の生態を探ってきた。しかし猟のノウハウを学ぶのは一筋縄ではいかない。ハンターには何が必要とされているのだろうか。



クマの冬眠穴に入る筆者（足だけ見えている）



東北地方
(日本)

く、草むらでは半分も残っていないなかったり、翌日ともなれば風で消えつつあったりするからである。それでも、彼らは獲物を探すために文字を読み取ってきた。しかし、大型動物の場合には文字よりも目視の方が頼りになっており、前方数十メートルのところに獲物を見つけて猟を始めることが多かった。

あるとき、弓矢猟に同行したことがあった。当初、ハンターはシャツを着ていたが、途中で動物が見えると服をぬいで腰をかかめて急ぎ足になった。わたしはそのあとを追跡したが、動物の近くで音を出してしまい獲物が逃げてしまった。弓矢猟は単独でおこなう猟であることを痛感した。このように猟のじやまになったことは数えきれないが、役に立ったことは一度もないであろう。

獲物の出現

東北日本のクマ狩りではハンターは〇名ほどで猟に出るが、急峻な山地のなかということもあってクマを探す場所はほぼ決まっていた。春先の雪解けが早い急斜面は、冬眠から目覚めたクマが餌を探しにくることが多いため、ハンターは双眼鏡を使って入念に見張っていた。一日中ほとんど休憩のないカラハリの猟とは違って、ハンターは急斜面を登ると二斉に

アマゾン
(エクアドル)

アマゾンの吹き矢猟



わたしは、これまでに多くのハンターとともに野山を歩いてきた。

世界最大域の熱帯林を有するアマゾンの森からアフリカのカラハリ砂漠の大地、そして東北日本のブナの森など、それぞれ自然環境は異なるが、ハンターとともに歩くことをフィールドワークの基本としてきた。ときにはハンターの足手まといになっているだけではないかと思うこともあるが、ともに歩くことで見えてくるものがあると信じてきた。

わたしは、なかでもカラハリ砂漠に暮らすサン人のハンターとともに歩くことが多い。サンは、世界的にも狩猟民の典型といわれる人びとである。当然ではあるが、当初、わたしが行きたいと繰り返しても、なかなか猟への同行を許してもらえなかった。同じキャンプに暮らしていてもハンターはわたしが不在にしているあいだにそと出て行ってしまっただ。

動物の形跡

一カ月後にいよいよ猟への同行を許されたのであるが、畏れ多いながらも獲物がかかっているかどうかを確認するだけなので、猟の方法も成果もわかりやすいものの、犬の助けを借りる槍猟ではただひたすら歩くだけに見えた。まずは動物を探しに行くのである。カラハリ砂漠は灌木と草地からなるサバンナが占めており、比較的に見晴らしはよいが、そう簡単に動物を目視できるわけではない。それゆえ、ハンターは動物の足跡をよく見ていた。その形は、それがライオンであるとか、いつごろ移

座ってクマを探するため、同行したわたしもその場で休むことができた。

アマゾンの森では猟の対象が新世界ザルであるので、高さ三〇メートルある樹木の上部を見ることにつながる。長さ三メートルもある吹き矢を背中にかついで森を歩き、猟場らしきところに着くと常に上を向いているので首が痛くなるが、ハンターは慣れたものである。木の葉を笛のようにしてウーリーモンキーを呼ぶ音を発していたのが印象深い。

そして追跡

このようにハンターとともに歩くことをとおして、動物の行動や生態によって獲物に接近する方法が異なることがわかってきた。しかし、いずれも共通するのは、じつは、接近後にハンターとともに走る必要があるということだ。カラハリ砂漠では、犬の助けを借りて獲物を立ち止まらせ、そこへ槍を投げておいて走って追いかける。アマゾンでは、吹き矢をもってサル群れの移動とともに地上を走る。日本では、クマを銃で撃ったあとに獲物を追いかける。結局のところ、歩くだけでは動物を獲得できない。どのような場所でも走れないと、ハンターにはなれないと痛感している。

犬の助けを借りた槍猟(左)と弓矢猟(右)



カラハリ砂漠
(ボツワナ)

特別展
「子ども／おもちゃの博覧会」

明治時代以降における日本の社会の大きな変化は、その時々の子どものありようや人びとの子ども観に影響を与えました。本展では、江戸時代から戦後のさまざまな玩具をつづい、子どもや子どもをめぐる社会の変遷とその意味を探ります。

会期 5月28日(火)まで
会場 特別展示場



福わらい

■関連イベント
ワークショップ
「きり絵で楽しむ日本の文様」
日本に伝わってきた「紋きり遊び」を体験いただけます。

日時 4月6日(土)11時～11時40分、
12時～12時40分、13時～13時40分、
14時～14時40分(各回40分)
会場 本館エントランスホール
※申込不要、各回先着12名、参加無料
※参加対象者3歳以上、未就学児は保護者同伴でご参加ください。
※みんなくミュージアムパートナーズ(MM P)による催しです。

企画展
「旅する楽器——南アジア、弦の響き」

南アジアの弦楽器は、中央アジアや西アジアから伝えられた楽器が改良され定着したものが多く、そのいくつかは南アジアでの変容を経て東南アジア、東アジアにも伝えられました。楽器が広大な地域を旅して伝播していく様を知ることで、ユーラシアにおける長期的な文化交流を実感してください。

会期 5月7日(火)まで
会場 本館企画展示場



タゴール家に伝えられた
1907年製のシタール

ワークショップ
「かざってポン！オセアニアのかざり」

世界には貝がらやイノシシの牙をつかったかざりや仮面があります。このワークショップ

プでは、オセアニアの人びとがつくったかざりを観察したり、くららについて学んだあと、布バッグに貝がらやイノシシの牙のスタンブをかざりつけをします。

日時 4月6日(土)11時～11時45分、
13時～13時45分、14時30分～15時15分(各回45分)
会場 本館ナビひろば、オセアニア展示場
※当日随時受付、各回先着15名、
参加費500円(別途要展示観覧券)
※未就学児は保護者同伴でご参加ください。

ワークショップ
「みてふれてつくって 世界のピース」

アフリカでつくられたピース製の帽子や首飾りなどの装飾品にふれたり、紙をつかったペーパーピースづくりを体験できます。

日時 4月26日(金)、27日(土)
10時～17時最終受付16時30分
会場 本館エントランスホール
※当日随時受付、参加無料(ただし、本館展示場を鑑覧する場合は、展示観覧券が必要です)。

●みんなく無料シャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間の直通送迎バスを特別展「子ども／おもちゃの博覧会」の会期中に運行します。

運行日 5月28日(火)までの土曜・日曜・祝日
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 平日、4月27日(土)～5月1日(水)
祝日

※万博記念公園でイベントが開催される場合は臨時に運休することがあります。詳細は本館ホームページをご覧ください。

国立民族学博物館・国立科学博物館 共同企画展
「ピース——自然をつなぐ、世界をつなぐ」

会期 4月9日(火)～6月16日(日)
会場 国立科学博物館 日本館1階
企画展示室(東京・上野)
月曜日、5月7日(火)
休館日 「ただし、4月29日(月)・祝、5月6日(月)休、6月10日(月)は開館」

主催 国立科学博物館
国立民族学博物館

※各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みなく春の遠足・校外学習事前見学＆ガイダンス
春の遠足・校外学習にむけて、事前見学に来館される学校団体の先生方を対象としたガイダンスを開催します。

日時 4月4日(木)、5日(金)
14時～16時30分(13時50分受付開始)
会場 本館第5セミナー室
※参加無料
ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXにてお送りください。

みんなくゼミナール

日時 4月20日(土)13時30分～15時(13時開場)

会場 本館セミナー室ほか
参加費 無料
※参加券を当日12時30分から本館1階案内所前にて配布



印刷ごっこの道具
「教育玩具 文明印刷遊」

第490回 教育玩具とその時代——子ども・おもちゃ・教育

講師 是澤博昭(大妻女子大学 准教授)
笹原亮二(本館 教授)

特別展「子ども／おもちゃの博覧会」は、子どもをめぐる社会の変遷をテーマのひとつにしています。ここでは近代教育の対象として、幼児を含む子どもを全体を意識し始める過程を玩具から振り返ります。

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話そう

本館の研究者が「現在取り組んでいる研究」「調査している地域(国)の最新情報」「みんなくへの展示資料」について分かりやすくお話しします。

4月7日(日)14時30分～15時 本館企画展示場
南アジアの弦楽器
話者 寺田吉孝(本館 教授)

4月14日(日)14時30分～15時 特別展示場
戦後のおもちゃ
話者 日高真吾(本館 教授)

4月21日(日)14時30分～15時 本館ナビひろば
認知革命とピース
話者 池谷和信(本館 教授)

4月28日(日)14時30分～15時15分 本館ナビひろば
どいつの言葉は変わるのか
話者 吉岡乾(本館 准教授)

※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

■嶺重 慎、広瀬 浩二郎、村田 淳 編

『知のスイッチ——「障害」からはじまるリベラルアーツ』

岩波書店 2,100円(税別)
社会の多数派が「あたりまえ」と思うことでも、うまくできなかつたり、まったくできなかつたりする人がいる。「あたりまえ」ができないとき、人は立ち止まる。本書は、「障害」をキーワードに、学問と社会の「あたりまえ」を問い直す試みである。



■是澤 博昭、日高 真吾 編

『子どもたちの文化史——玩具にみる日本の近代』

臨川書店 4,300円(税別)
玩具に映しだされた大人と子どもの対話を読み解き、近代日本の新たな社会像を提示する。本館共同研究「モノにみる近代日本の子どもの文化と社会の総合的研究——国立民族学博物館所蔵多田コレクションを中心に」及び基幹研究「日本列島における地域文化の再発見とその表象システムの構築」の成果を書籍化。



刊行物紹介

■山本 紀夫 編

『熱帯高地の世界——「高地文明」の発見に向けて』

ナカニシヤ出版 6,800円(税別)
この地球上には熱帯高地と呼ばれる地域がある。メキシコ中央高原、中央アンデス高地、ヒマラヤ・チベット高地、アビシニア高原などである。ここでは古くから多数の人びとが暮らし、都市を築き、高度な文明さえ生み出した。本書では、これらの高地を訪ね、人間と熱帯高地との関係を明らかにしようとする。



友の会

友の会講演会

会場 本館第5セミナー室(当日先着順・定員96名)
※会員無料(会員証提示)、一般500円

第488回 5月4日(土)祝13時30分～14時40分

「特別展「子ども／おもちゃの博覧会」関連
紙人形と着せ替え遊び——遊ぶ身体と記憶」
講師 森下みさ子(白百合女子大学 教授)

世代を越えて多くの女性が遊んだことのある着せ替え人形。千代紙の姉妹人形から紙の着せ替え人形を経てリ力ちゃん、そして着せ替えゲームにいたるまで、女の子たちが夢中にさせてきた着せ替え遊びには、どのような魅力が潜んでいるのでしょうか。また、その変化には何が投影されているのでしょうか。遊びとともにある玩具を、遊ぶ子どもの身体感受性に注目しながら、普遍性と可変性の両面から解き明かしていきたいと思ひます。

※講演会終了後、講師の案内のもと、特別展の見学会をおこないます(40分/会員証もしくは展示観覧券が必要)。

第81回体験セミナー
琵琶湖と生きる——刺し網漁とモンドリ漁

日程 5月11日(土)～12日(日)【申込締切:4月10日(水)】

第93回民族学研修の旅
インドネシア東部ヌサトゥンガラ諸島の住まいを訪ねる

日程 6月7日(金)～18日(火)【申込締切:4月26日(金)】

国立科学博物館(東京・上野公園)で開催!

トークイベント

「ピトつてなんだ??」
——ホモ・サピエンスの誕生から文化の獲得まで」

話者 篠田謙一(国立科学博物館副館長)
池谷和信(本館 教授)

日時 5月25日(土)14時～16時

会場 国立科学博物館 日本館2階 講堂
主催 国立科学博物館、千里文化財団

※要事前申込(先着100名)

※聴講は無料ですが、常設展示入館料が必要です。

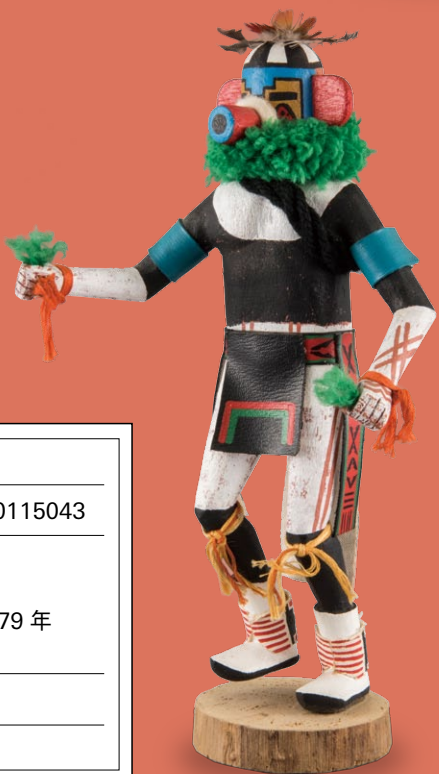
※左記受付フォームより申し込みください。

【申込期間:4月1日(日)～5月10日(金)】
https://www.senri-f.or.jp/homo_sapiens/2019/04/01/



想像界の生物相 カチーナ人形

民博 学術資源研究開発センター 伊藤 敦規 いとう あつのり



資料名 | カチーナ人形

標本番号 | 上から H0085666、H0115042、H0115043

制作 | 上から
アーサー・ヨイワイテワ、1979年
アンドリュー・グローバー（推定）、1979年
ルディー・ポリアラ、1980年

地域 | アメリカ

高さ | 上から 24cm、27cm、29cm

米国南西部の乾燥地で農耕を営むホピ族をはじめとするプエブロ諸民族は、生存に欠かせない雨や雪や湿気、そして美や調和といった生活を豊かにする力そのもの、もしくはそうした力を携えて来訪する超自然的存在としてのカチーナやコッコ（以下、カチーナと総称）を信仰し、生命力の溢れる生活を期待する。カチーナはこの地域に生息する植物や動物をはじめ、雲や稲妻といった自然界の現象、太陽や星といった天体、さらに近隣に暮らす民族集団の特徴をあらわしたなど多種多様である。

◆◆◆定められた姿◆◆◆

カチーナは種類によって見た目が異なるが、基本的な構成は、頭部、胴体、四肢からなる。つまり擬人化されている。尾が生えていたり、腰帯や襟巻きなど何かしらの衣装を身にまといたり、靴を履くものもある。こうした衣装や身体のパイントは固定的で、状況に応じて変化するわけではない。外見だけでなく来訪する理由も定まっている。ホピでは二月ごろには驥の目的で子どもに恐怖を与える鬼のカチーナがやって来るし、三月ごろには村人に徒競走を挑むカチーナがやって来る。競争に負けた人間は、身体鍛錬を怠ったとして罰が与えられる。共通の祖先をもつ

と考えられている血縁集団（クラン）の守護的な役割をもつものもある。カチーナは木彫人形として具現化されることもある。おもにコットンウッド（ヤナギ科ハコヤナギ属のポプラ）の根を彫り、顔料で着色した人形は、儀礼のときにカチーナから女兒に手渡され、その後玩具となったり屋内の壁に飾られたりする。カチーナ人形はこの一〇〇年ほどで観光土産や芸術品として制作され流通するようにもなった。

◆◆◆引き継がれる記憶のなか◆◆◆

民博はホピ製とされるカチーナ人形資料を三〇〇体ほど収蔵している。数年前、ホピの宗教指導者やアーティストを招聘し、全点を確認してもらった。そのなかから植物に関連するいくつかのカチーナ人形へのコメントを紹介したい。

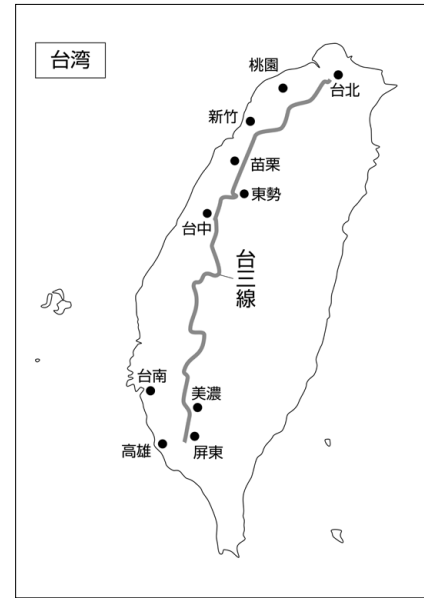
写真右上はスカッシュ（カボチャ）のカチーナで、地元ではタンカチーナなどと呼ばれる。頭部だけでなく胴体や四肢もカボチャ柄で覆われており、後頭部と両手にもった黄色いガラガラはその花をあらわしている。下帯を締め、毛糸を両手首と脛に結び、たすきがけをしている格好や、特に裸足の描写から走者のカチーナの一種であると推定された。ホピのアーティスト

によって絵画や木彫人形のモチーフとして選ばれる人気の高いカチーナだが、現在の地域の儀礼にも登場しないため、実際に目にしたことのある作家は皆無だという。制作者のアーサー・ヨイワイテワ氏は何を参照しながらこの人形を彫ったのだろうか。写真中央の人形の底面には「Ushé, Hano Cholla Cactus, Grover」として記されている。英語のチョーラカクタスとはホピ保留地に自生するウチワサボテンのことだが、「Ushé」は「Oso」（植物に関連する接頭語）の表記違いではないかという見解が提示された。「Grover」というのは第一メサ地域に多い姓で、制作者名がすでに判明している他の人形資料と作風などを比較することでアンドリュー・グローバー氏作と推定された。写真下は主食であるトウモロコシのカチーナの一種で、斑模様はトウモロコシをあらわすアヴァツホヤとよばれる。この人形についても衣装、身体のパイント、羽根の描写の誤りが細かく指摘された。カチーナは歴史上のある時点である特別な力が擬人化され、その後は特定の儀礼に繰り返し同じ姿であられることと人びとの脳裏に刻まれていった。人形として具現化する場合も同様に、アーティストの創造性や記憶違いに由来する改変は基本的に好まれない傾向にある。

新世紀ミュージアム

台湾西部では客家ロマンチック街道の建設がはじまり、客家の歴史や記憶がつまったエコミュージアムがつくられるようになってきている。あらたな観光の目玉となる一方で、初期段階であるがゆえの課題も見え隠れする。台湾客家の村に訪れた筆者が、その課題について人類学の視点から考える。

二〇一二年、台湾の客家地域では、エコミュージアムの建設が盛んになっている。エコミュージアムとは、一九七一年にフランスで提唱された「壁をもたない博物館」であり、一九九〇年代より東アジアでも広まった。例えば、中国大陸の貴州省や広西チワン族自治区では、政府と学者の主導により、いくつかの村がまるごと「ミュージアム」とされた。そして、村内の主要な建造物や景勝地をパネルで解説するとともに、それらを村民の手で保護



台湾西部を南北に貫く台三線

していく理念が掲げられたのである。二〇一六年から、台湾でも、客家が多数住むいくつかの村がまるごとエコミュージアム（中国語では「生態博物館」とされ、ここで「生きた博物館」をつくりあげていく努力が試みられはじめています。

客家ロマンチック街道

では、なぜ台湾の客家村でエコミュージアムが突如として注目を集めるようになったのか。それは台湾の政府機関である行政院客家委員会が近年推進している、客家ロマンチック街道（中国語の正式名称は「浪漫台三線」）の建設と密接に関連している。

台湾は複数のエスニック集団が割拠する地であり、漢族の一集団である客家は、台湾全人口の約一五パーセントを占めると

指す。客家ロマンチック街道の中核地は、桃園から、新竹、苗栗、台中の山岳部までの一帯であるが、エコミュージアムの範囲は最南端の屏東までを含んでいる。二〇一八年秋、わたしは、エコミュージアムとして指定された南部の屏東県佳冬郷と北部の苗栗県獅潭郷を訪れた。このふたつの客家村は政府と大学の提携で、「生きた博物館」としてつくられはじめており、村内では、歴史ある建造物（祠堂、教会、廟、集合住宅、日本統治時代の神社

など）が、文化遺産として地図上にマッピングされている。そのうえで、各建造物の前には、名称や歴史・文化的背景を解説するパネルが立てられるようになった。特に佳冬郷では、小道の壁に現地の詩人が詠んだ詩が書かれるようになり、客家の生活にまつわる記憶が想起できるようになって



獅潭郷の目玉のひとつであるジョージ・L・マカイ建設の古い教会

いる。こうして

ロマン溢れる客家の村が演出されているのである。

歴史記憶の再発見に向けて

客家ロマンチック街道の建設は、政府や学者が主導しているが、客家村の住民が自らの手で客家文化を保護・継承し、ときとして創生することを目指している。そのため、住民が主役となって住環境を整備し、文化の保護・継承・創生を基本的理念とするエコミュージアムが注目を集めるようになったといえる。だが、ここで鍵となるのは、どの歴史的建造物を選び、どのよう

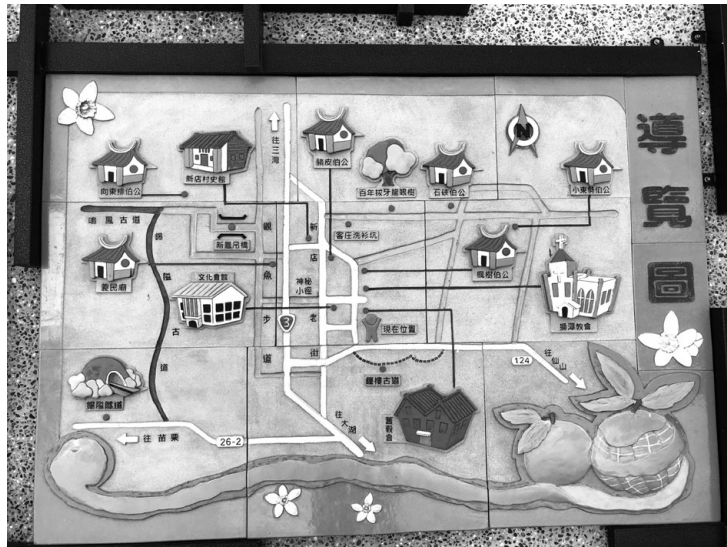


佳冬郷であらたに出現した立看板と客家語の詩を描いた壁

見積もられている。そのうち客家がもっとも集中して住むのが、台湾西部の南北を貫く台三線とよばれる省道の沿線である。だから、客家委員会は、この道路の沿線一帯を客家ロマンチック街道と名づけ、特色溢れる客家文化を資源として地域振興を促進するとともに、そこを観光地としてアピールするようになった。さらに、そこで暮らす客家の人びとが自らの手で客家文化を保存し、継承していくことが推奨されるようになったのである。

詩的景観の創出

台三線は、具体的には北部の台北から南部の屏東までの約四三六キロメートルをに村落の歴史を物語るのだからである。いうまでもなく、村落には、政府や大学が「正統」とする村落の歴史のほかに、村民が生活実践に基づき紡ぎあげてきた複数の歴史記憶が存在する。例えば、政府や大学がロマン溢れる物語でもって宣伝していた小道に対し、そこに住む人びとが「かつての苦しい生活しか思い出せない」と反論した事例をわたしは耳にすることがあった。台湾の客家村におけるエコミュージアムの建設には、エリート層を中心とする一部の村民しか参与しない傾向がまだ強い。研究者が現地において長期のフィールドワークをおこない、住民と手を携えて多様な歴史記憶を拾いあげていく公共人類学の試みが、今後求められているように思えてならない。



獅潭郷の村内に立てられた村落地図(写真はすべて2018年に撮影)



聖化に憧憬する心、俗世で生きる勇氣

劉高力
京都大学大学院博士後期課程

修験道と山伏

山の奥深くまで入り、修行によって神秘的な力を得る山岳信仰を修験道という。修験道は古来の山岳信仰が、仏教、密教、中国の宗教である道教や儒教などの外来の宗教と結びついた日本独特の宗教といえる。修験道をする修験者を山伏という。羽黒山、英彦山として熊野大峰山は「日本三大修験山」とよばれ、山伏の修験道場として有名である。山伏にとって、山はこの世と地続きの他界である。山に入ることは母胎内で生まれ変わることに



頭襟をつける修験者

同じだ。山伏はその象徴として、固めた和紙や黒く染めた木で作った頭襟を額につける。それには、大日如来の「五智宝冠」と不動明王の「八葉蓮華」をあらわす二種類がある。特徴的な服装と浮世離れた姿は、伝説の天狗によく似ているともいわれる。

「他界」からの映像
二〇〇二年、還暦をむかえたドキュメンタリー映画監督・北村皆雄は「生まれかわりの年に何か自分に記念すべきことをやろう」と考え、素人山伏として九日間羽黒山修験に参加した。その後、修験に深く感動した北村はそれを記録することを決意し、二年間にわたる撮影を続け、二〇〇三年と二〇〇四年の「秋の峰」修験を記録した。本映画はこうして誕生し、一〇五名の山伏が九日間にわたり山にこもって修験する全儀礼が描かれる。体験した人にしか知りえない「門外不出」といわれる羽黒山の秘行が、初めて完全に記録され我々の眼前にあらわれる。

儀礼のプロセスは次のようである。まず、修験者は「再生」の前に「擬死」しなければならない。入山前に、修験者は山駆けし、疲労が蓄積した状態になる。そして、断食をしながら経を読む。さらに、唐辛子の粉末に乾燥させたドクダミを混ぜたものを焚き、その煙のなかで過ごすという、つらい「南蛮いぶし」を経る。こうして俗世の欲を削いでいく。この過程は、体が地獄・餓鬼・畜生・修羅・人間・天という六道輪廻の苦しみをめぐり、過去、現在、未来の三世で何度も死に、そして再生することとされる。その度に、松明の火を体で受ける儀式をおこなない、魂を浄化する。「受胎」

「修験 羽黒山秋の峰」

2005年/日本/日本語/115分/DVDあり

監督：北村皆雄

語り：浜畑賢吉

協力：羽黒山荒澤寺正善院

修験者の行列
(写真はすべて映画「修験 羽黒山秋の峰」より。
北村皆雄提供)



の儀礼によって、新しい生命が誕生する。すなわち「即身即仏」としてむかえられる。

「この世」に戻る力

江戸時代まで、山伏は神秘的な力を持ち、農作物を守る事ができると信じられていたので、重宝され人数も多かった。しかし、

その後、西洋の科学的な考え方が広まり、民間信仰への関心は薄らいできた。勢力が衰えたとはいえ、修験道は今日まで二〇〇〇年以上続いている。映像には、初体験の者から二〇回目を数える者までが登場する。古来の山岳信仰への憧憬のほか、修験道には別の特別な魅力もあるようだ。

ある山伏は「擬死」を体験することはとても苦しく、一人では絶対に無理だが、みなと一緒にならばできるという。みなと一緒に苦しみ一緒に再生することで、他人との連帯感を得たり、達成感を味わうことは、修験道の現代的な意義のひとつだとわたしは思う。中国で

何度も軍事訓練を受けた経験があるわたしは、精神的な忍耐力と身体的な苦しみを乗り越え、苦楽とともにした仲間が共感しあうというそのときの体験を思い出した。

むかし、修験者は個人的な苦行により

浮世から離れて力を得た。現在の日本の大都會には、独居や孤食というような物理的な「他界」に加え、孤独や疎外感といった精神的な「他界」もあるようだ。修験者は修験での集団行動をとおして、人は互いに支え合って生きていることを認識し、それらふたつの「他界」を超越して、「この世」に戻る力を得る。中国に「大隱隠于市(崇高なる隠者は街にまぎれる)」という諺がある。山に行き俗世と離れること自体は困難ではない。むしろ、その後、浄化された心で俗世を生きていくことにこそ、大きな力と勇氣が必要である。神秘的な映像の影に、現代日本がおかれた社会の陰を見ることが決して深読みとはいえないだろう。



修験の火

俺はシッセイ、お前はカンセイ



What's in a name?

さくらぎ まり子 桜木 真理子

大阪大学大学院博士後期課程

ハンセン病がかつて「らい病」とよばれていたことを知る人は少なくないが、ハンセン病患者たちが自分たちの体にまつわる多種多様なことばを共有していたことは知っているだろうか。群馬県のハンセン病療養所で在園者の人びとへの聞き取りを始めた当初、わたしは病気の経験や後遺症にまつわる彼らの語りにはしばしば登場する耳慣れないことばに戸惑うことがあった。

例えば、ハンセン病による神経障害で皮膚の感覚が鈍くなった部分は「ワスレメ」とよばれる。また、在園者同士の世間話にはよく「キズ」とか「万年キズ」ということばが出てくるが、これは一般的なすり傷とは異なり、一度できた傷が重症化してしまつた潰瘍を意味している。

特に興味を惹かれたのは病気のタイプ（病型）をあらわすことばだった。「病気にはシッセイとカンセイがあつて、シッセイが自分のタイプ。シッセイは眉毛が落ちる。カンセイは眉毛がピンとしていゝ。手足が曲がればカンセイ、眉毛が抜ければシッセイ」。二十代から現在までずっとこの療養所に住む九十代の男性はこう教えてくれた。聞けば、戦前から戦中期に療養所へ入所した彼らは、先輩患者からこれらのことばを教つたのだという。当時の療養所の医師は、患者に対して直接病型を告知しなかつた。その代わりに先輩患者たちが、新入

りの経過を観察し、「お前はカンセイだな」などと、先輩患者を独自に「診断」していたのだ。彼らは先輩患者から口頭で教つたことばをいつの間にか覚え、身に付けていった。

一九世紀末から一九五〇年代まで、医学的には臨床症状の特徴をもとにした「神経癩」、「斑紋癩」、「結節癩」が病型分類として一般的で、当時各療養所が発行していた統計年報にもこれらが記載されている。その一方で、一九〇〇年代前半の古い医学書を紐解くと、病型のよび名には他にも「いばらい」や「うすどく」、「たむしらい」といった多様な俗名があつたことが窺い知れる。そうした俗称のなかに「乾性」と「湿性」も含まれていた。ハンセン病医学の専門誌『レブラ』に掲載された一九四四年の論文では、医学的な病型分類と対比して、「脚気の浮腫性」のものが湿性で手足の『シビレ』の甚しきものは乾性と呼ばれて居る」と述べられている。ひとつ療養所のなか、医師と患者それぞれの病型のよび名が併存していた事実は注目し値する。

ハンセン病療養所のように、同病者と数十年間ともに過ごす環境はめずらしいとはいえ、病院や患者グループのなかでも同様に独自のことが使われることがある。同じ病気をもつ人びとのあいだには、感覚や身体的不調を共有するための豊かなことばの世界が広がっている。

編集後記

国立民族学博物館には、2019年現在、約12,000点の標本資料が展示されている。しかし本館全体のコレクションの総数は、343,738点（2018年3月31日時点）にもおよび。つまり資料のほとんどはバックヤードである収蔵庫に保管されているのである。収蔵庫は裏方のように思われがちであるが、別の見方をすればもっとも重要な場所ともいえる。本号では、本館の資料を収納・管理している収蔵庫の状況について、最新の技術から現状までを紹介する特集を組んでみた。展示場の観客としてみると目立たないながら、じつは博物館にとって本質的に重要な機能も担っている現状と、あくなき改善の試みが紹介できていたら幸いである。（丹羽典生）

みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もございます。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。
(電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



●表紙：収蔵庫再編成後の第3収蔵庫（撮影：園田直子、2019年）

次号の予告

特集

『月刊みんぱく』500号のあゆみ（仮）

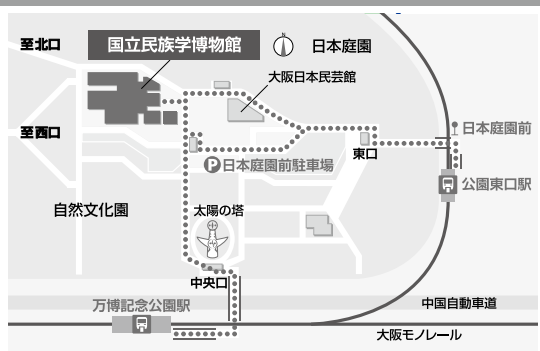
月刊みんぱく 2019年4月号

第43巻第4号通巻第499号 2019年4月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 園田直子
編集委員 丹羽典生（編集長） 寺村裕史 三島禎子
南真木人 山中由里子 吉岡乾
デザイン 宮谷一 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 毎日新聞社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>